

本日のプログラム

18:00 開会宣言・会場諸注意

司会

18:03 フェイクニュースとインターネットガバナンスについて

◆はじめに: フェイクニュースに関する議論

IGCJを考える会 橘俊男

◆登壇者からみたフェイクニュース(各15分)

朝日新聞社

平和博

法政大学社会学部

藤代裕之

スマートニュース株式会社

松浦茂樹

19:00 ディスカッション

19:55 まとめ・次回IGCJのご案内

司会

20:00 閉会

フェイクニュース に関する議論

コンテンツを取り巻く インターネットガバナンスの諸課題

匿名性・
プライバシー保護

フェイクニュース

検閲

有害コンテンツ
対応

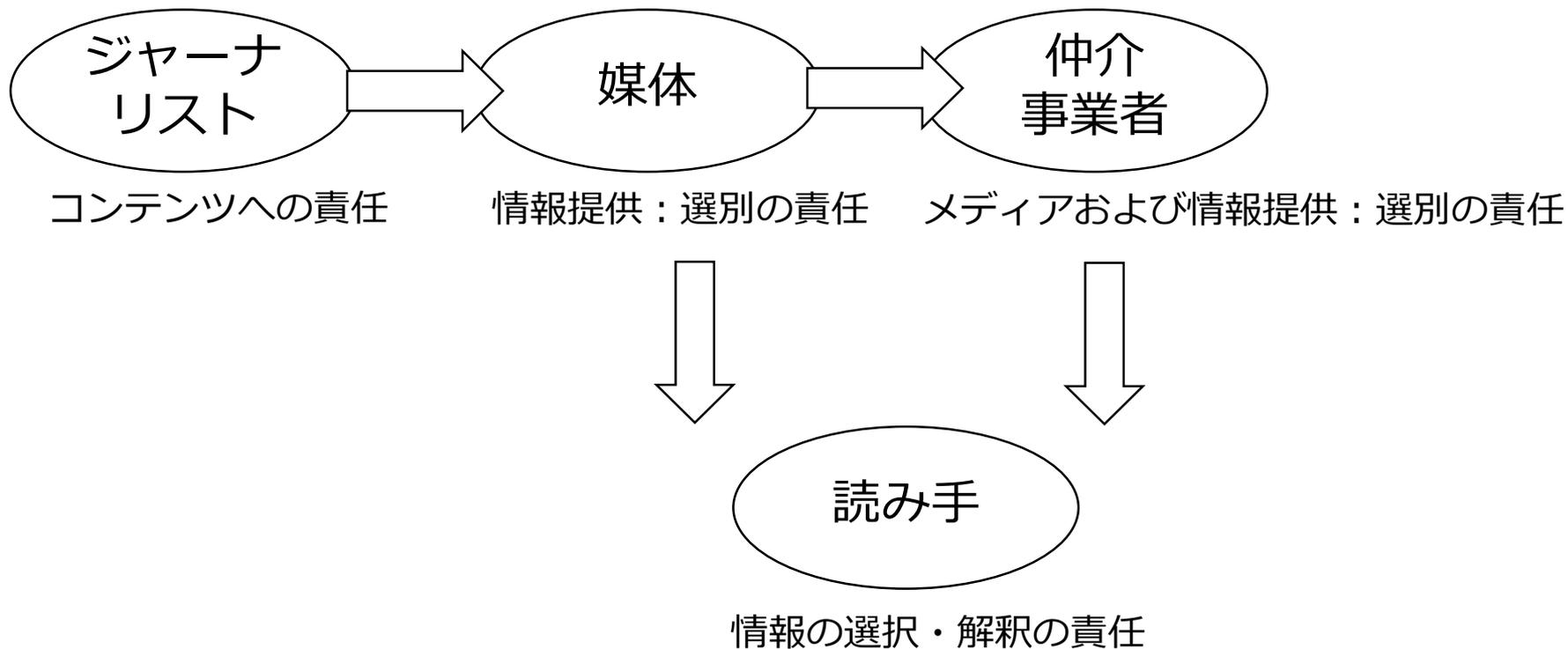
表現の自由

政府・企業による
ブロッキング

グローバルコンテンツと
ローカルコンテンツ発展

情報の自由な流通

ニュースの信頼性：各関係者の責任 ～フェイクニュースへの対応～



ディスカッション

- 全体像
 - フェイクニュースの特性、想定される影響
 - 事例として印象的なものは？
- ジャーナリスト
 - 情報ソース・信憑性の確認はどう行っているのか
- メディア
 - メディアの役割・日本にファクトチェックメディアはあるのか
- 仲介事業者
 - 仲介事業者の役割として求めたいことはあるか、それはどんなことか
 - また、するべきではないことはなにか
- 読み手
 - 情報を受け取る側は、何に注意すればいいのか

今日のセッション振り返り (こんな事ができていたら良いなあ)

- 情報と知見の共有と議論

- インターネット上の発信に起因するフェイクニュースの特性と課題の確認・意識共有
- フェイクニュース対策に向けた各自の役割と責任
 - 記者、ニュースメディア、プラットフォーム、受け手

- Next Step

- 各自それぞれ対応をとることで総合的・包括的な対策につながる

次回:IGCJ19

- 2017年5月25日(木) 18:00-20:00
- JPNIC会議室
- 議論したい内容・登壇者の提案募集！